

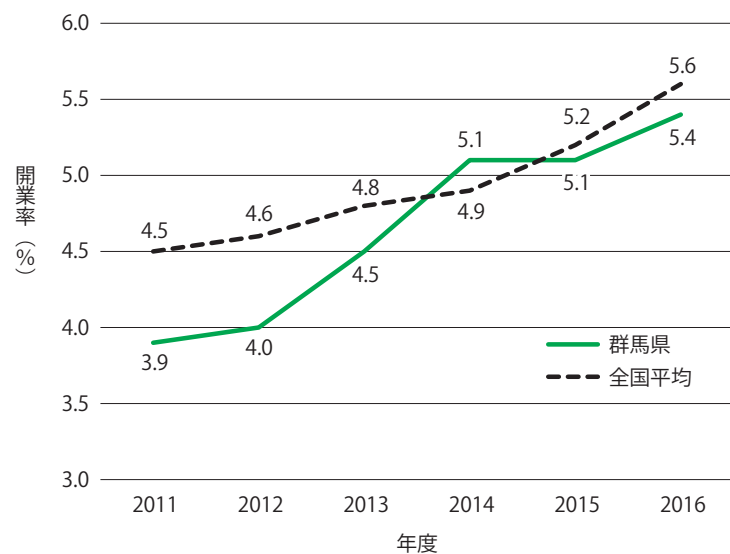
# 群馬県の開業率は全国第17位の5.4%

- 群馬県は、第15次群馬県総合計画「はばたけ群馬プランII」(2016年度～2019年度)において、新たに開業した企業が既存企業に占める割合を表す開業率<sup>(注)</sup>を、2019年度までに10.0%にすることを目指している。
- 厚生労働省「雇用保険事業年報」および「雇用保険事業月報」から、当研究所が計算した2016年度の群馬県の開業率は5.4%で、全国第17位である(図表1)。全国トップは沖縄県で8.1%、全国平均は5.6%であり、群馬県の開業率はほぼ全国平均並みとなっている。
- 群馬県の開業率の推移を見ると、2011年度の3.9%から2016年度にかけ1.5%上昇している(図表2)。開業を支援するため、群馬県は創業者向け勉強会や情報提供などの施策を実施し、民間では「ぐんぎんビジネスサポート大賞」や「群馬イノベーションアワード」といったコンテスト形式の取り組みも行われている。さらなる開業率向上のため、今後も官民を挙げた継続した支援が期待される。

図表1 都道府県別開業率  
(2016年度)

順位	都道府県	開業率(%)
1	沖縄	8.1
2	埼玉	7.5
3	千葉	7.2
4	神奈川	7.0
5	大阪	6.7
5	福岡	6.7
)		
	全国平均	5.6
)		
17	群馬	5.4

図表2 群馬県および全国平均の開業率推移  
(2011年度～2016年度)



(注) 開業率の計算には、厚生労働省「雇用保険事業年報」、「雇用保険事業月報」を用いる方法や、「経済センサス基礎調査、活動調査」(調査間隔2年～3年)を用いる方法などがある。本稿では、1年度毎の推移を見るために、厚生労働省「雇用保険事業年報」、「雇用保険事業月報」を用いた。群馬県総合計画でも同様の方法が用いられている。

開業率=当該年度に雇用関係が新規に成立した事業所数÷前年度末の適用事業所数×100  
適用事業所とは、雇用保険に係る労働保険の保険関係が成立している事業所である(雇用保険法第5条)。

資料：厚生労働省「雇用保険事業年報」、「雇用保険事業月報」から当研究所作成

(担当：三田正広)